

「子どものけんりじょうやく」 30年に よせて
～おおさかふきょういくちょうからの メッセージ～

みなさんは「子どものけんりじょうやく」をしていますか？

1989年に せかいの くにか はなしあい、きめてから、ことしは 30年です。25年まえには、日本も この じょうやくの なかまになりました。

この じょうやくは、196の くにか なかまになっています。そして、子どものくらしをよくするためにがんばっています。もちろん おおさかに すんでいる みなさんにも たいせつな ものです。

この じょうやくの だいじな ところを いいます。先生や おうちの 人と いっしょに、「けんり」や「じゅう」がちゃんとまもられているか、かんがえて みてください。

- ① 生きるけんり。これは、びょうきになっても、ちりょうをうけられることです。
- ② そだつけんり。これは、べんきょうしたり あそんだり するけんり、じぶんでじぶんのことをきめるけんりのことです。
- ③ まもられるけんり。これは、しょうがいのある子どもや しょうすうみんぞくの子どもをはじめ、すべての子どもがひどいことをされないけんりのことです。
- ④ さんかするけんり。これは、じゅうにいけんをいったり、はなしをしたり するけんりのことです。

この じょうやくにあるけんりは、みなさん一人ひとりがもっています。わたしたちはみなさん一人ひとりのことをとてもたいせつにおもっています。学校生かつのなかで、みなさん一人ひとりがたいせつにされ、そして、ほかのひとをたいせつにしながら、あんしんしてすごし、じぶんらしくせいちょうできるよう、おうえんしつづけていきます。

べんきょうがわからない、ともだちやきょうだいとうまくいかない、学校にいくのがしんどい。いろいろななやみがあるとおもいます。

もし、あなたがなやんでいたら、そんなときは、一人だけでなやまないで、先生やおとなにそうだんしてください。ただし、インターネットなどでしりあったおとなにたよることはあぶないので、ぜったいにしないでください。

おわりに、わたしは、おおさかふのきょういくちょうとして、また、おとなたちのだいひょうとして、みなさん一人ひとりのために、「子どものけんりじょうやく」をたいせつにしていくことをちかいます。

2019年12月10日

おおさかふきょういくちょう さかい たかゆき